

29U-am07

高脂血症治療薬・フェノフィブラートのBGL Modificationによる中性脂肪低下効果の検討

○神谷 昌樹¹, 中本 亜樹¹, 河村 知志¹, 土屋 浩一郎¹, 滝口 祥令¹, 根本 尚夫¹
(¹徳島大薬)

< 目的 >

Fenofibrate (1)は高脂血症の治療に用いられるが、吸収性が低く、服用法の制限や微粉末化等の対策がとられてきた。我々は原因が1の著しい低水溶性と考え、新規水溶性誘導体の合成と活性試験を検討した。

< 方法 >

有機合成の手法で、独自開発の BGL (Branched Glycerols)¹⁾を1の母骨格に連結させ、2~4を合成した。1~4をラットに100 mg/kg/day、8日間経口投与した。

< 結果 1 >

1に対し4は投薬が容易となり、投薬環境改善という医療薬学分野への有機合成分野からの寄与のひとつを示した。

< 結果 2 >

中性脂肪低下効果は1~4ですべて同等だったのに対し、4のみHDLコレステロール値に影響を与えないという有意性を観察した。

